



## 少路まつり通信 No.2 少路まつりの歴史

日頃は、PTA活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。3年ぶりに復活の少路まつりですが、転入出の多い学校でもあり、コロナ禍前の少路まつりが、どのようなものかご存じない保護者も多くいらっしゃるかと思います。そこで、少路まつりの歴史について、ご家庭で話題に上げていただき、少路まつりをさらに楽しんで頂けたら幸いです。

### 少路まつりのはじまり

少路まつりは、昭和57年(1982年)に、校区が新しい住宅地のため「ふるさとをもたない子ども達に、まつりを体験させたい」という趣旨でPTAが中心となり始まりました。

今年は、39回目の開催となります。



### 少路まつりの移り変わりをご紹介



#### みこし

第1・2回は、担ぎ棒の上に工夫した段ボールのみこしで各地区から学校まで歩きました。



その後、交通量の増加に伴い運動場巡行へ。第9回から組み立て式の棒みこしになり、第10回に、みこしの担ぎ方の元気さを競う「ワッショイ大賞」がつけられました。第11回より、小学校のまわりを巡行するようになりました。

その後は、校庭を回ったり毎年検討されています。

#### コーナー

割りばし鉄砲、ブンブンゴマ、フリトンボなど、手作りの遊びコーナーから始まりました。第3回より、別の時期に開かれていた余剰品即売会が一緒に行われるようになり、子ども達のお店やPTA・地域団体等によるかき氷も始まりました。

第9回より、子どもコーナーが独立し、飲み物・食べ物・ゲームコーナーの種類が増えまつりを盛り上げました。



#### ステージ

第7回まで「たそがれコンサート」があり、十一中ブラスバンド、少路小PTAコーラス、阪大ガムラン音楽、フォークコンサート、豊中市消防音楽隊などが、体育館・運動場のステージで行われました。それ以降は、飲み物・食べ物ゲームコーナーを充実させるために、ステージはなくなりましたが近年、小規模ながら復活した年もありました。



#### フィナーレ

第1回はフォークダンス、第2回よりキャンプファイヤーが始まり、校長先生の火の神による点火の儀式が行われました。第8回の先生方の仮装「光る少路」はみんなの喝采を浴びました。第9回には、人形劇「おろち」が演じられ、その後はファイヤーに戻り、歌・サイリウム・花火を楽しみました。近年は、花火と桜太鼓でまつりのフィナーレを飾ってくれています。



#### キャッチフレーズ

第1回から「ふるさとのまつり作り」をスローガンに実施。

第5回「つなごう小さな手大きな手」

第12回「まつりだガンバ！少路だガンバ！」

第36回「少路っ子 熱い心をブチまけろ！」

★選ばれた子どもには、賞状・かき氷券などがプレゼントされました。(抜粋を紹介)



将来大きく成長していく子どもたちのためにも大人がもう一肌ぬぐうではないか！

地域や学校の活動は長い目でみなければだめだ。少路まつりの良さは、やめた時に初めてわかるでしょう。

## 座談会「少路まつり3周年を迎えて」

この座談会は、少路まつり3年目を迎えたときに、第1～3回の少路まつりに携わった役員と先生9名で、10年・20年後の少路を想う時、という意図で、何を目標にしてこの行事を始め、継続しているかを明らかにするために行われました。

少路地区のように歴史が浅く地域の連帯感が薄い所では、まつりは非常に教育効果があると皆が思ったし、子ども達が遊びを知らないという実態もあった。

地域の人たち・卒業生が参加してくれるようなまつりにしたい！

## 子どもたち参加型のまつり

手探りで始めたまつり。2年目には子どもからの要望で、親の体験を伝え日本・海外のまつりや歴史などを学び、自分達でみこしを作りました。3年目は子どものお店に活気が出るなど子どもの意見を尊重、実行に移し作る楽しさを体感してもらいました。

平成28年度からは、高学年希望者が出店でお仕事体験ができる少路っ子店員として、参加型のまつりが復活しています。(今年は実施しません)



## 少路にふるさとを

毎年、近隣の方々も楽しみしており、小学校PTA主催としては異例の大規模なおまつりに成長しました。今年は原点に立ち返り、PTAが少路っ子のために開催する、まつりにしたいと考えています。

## 少路まつりを支えるおやじの会

遠方からのファンもいるほど大好評の「おやじの会の花火」だけではなく、設営・警備など、安全面から見守るおやじの会なくては、少路まつりの開催が困難なのは、どの時代も変わりません。

## 少路まつり運営の変遷

まつり開催当時は、子どもが店を出すなど店舗数も多くありませんでした。近年では、地域団体の参加が増え規模が大きくなっています。

長年PTAの各委員会が決まった店舗を出していましたが、平成29年度限定で特別委員会「まつり委員会」が発足されました。保護者の運営の負担を軽減しながら子ども達には従来通りのまつりを楽しんでもらう事を目的とした活動をし、少路まつりの今後を模索していたところ、コロナ禍で2年開催できませんでした。そして今回は、委員会の関わりはなくPTAのボランティアさん（呼称：サポート隊）を募り、小規模開催が決定しました。



## 近年の少路まつり

今年度から、生活指導委員会以外が廃止となりましたが、以前は様々な委員会があり学校活動を支える活動の他に少路まつりでの担当が決まっておりました。

「お化け屋敷がやりたいから文教委員会に入りたい！」という方もいたり、委員会の中の少路まつりの存在の大きさを感じながら、新年度の委員決定が行われていました。

**学級委員会**：「少路商店」というまつりならではの子ども向けのおもちゃの販売

**広報委員会**：スーパーボールすくい

**施設委員会**：おにぎり・パン・お菓子・アイスなどの食品販売

**文教委員会**：多目的室でお化け屋敷

**保健体育委員会**：フランクフルトの販売

**生活指導委員会**：午前中にみこし巡行(朝練もありました)

**教員・PTA運営OB・OG**：かき氷(卒業生と教員との再会の場でした)

★上記他、PTAのボランティア、おやじの会、地域団体の方々がお手伝い下さっていました。



今年度の少路まつりは、少路まつりの歴史をかみしめながら時代と共に変化していく姿も楽しみにして下さい！！



参考資料：  
10周年記念誌  
20周年記念誌  
30周年記念誌